

# 明日を生きたい

## ヒマラヤのふもとから

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

3年前、西南に約400キロ離れたイ  
ンドの紡績工場に出稼ぎに行った。工  
場はネパール人の子どもばかり。朝6  
時から夜10時まで働いたが、最初の3  
カ月は無給だ  
った。4カ月  
目から一月5  
00インドル  
ピー(1イン  
ドルピーは約  
3円)の給料  
をもらった。

稼いだ金は、  
父が持つて帰  
った。ある日突  
然、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

とうとう解雇さ  
られた。父が持  
つて帰った。然  
るに、右手がし  
びれ、治らな  
くなった。と

# 出稼ぎ労働 心と体に傷

れ、7カ月前に戻ってきた。  
女祈とう師にジバン君を見てもらう  
ため、母はヤギを売ってお金をねん出  
した。「魔女ののろいだ。ヤギをささ  
げなさい」。その通りにやってみたの  
に、治らない。祈とう師は次に、「病  
院に行きなさい」と言った。しかし、



売るものももう、何もなかった。  
ジバン君は毎日何もせず、プラブラ  
している。「いい病院は遠い。お金も  
かかる。治療させてやりたいのです  
が」。そばで、母は嘆いた。  
近くに16歳の少女、シャムニ・カパ  
ンギさんがいた。

険しい道を通り、重い荷物を  
運ぶ家族連れ。小さな子供も  
貴重な労働力  
＝ネパールの農村で



「一日中、泣くか笑って  
いる」。向かいのおばさん  
が、小さな声で教えてくれ  
た。  
6年前、プロローカーに誘  
われてインドのデリーに双  
子の姉と一緒に出かけた。  
仕事は家事手伝いだった。  
1年後、姉が異変に気付く。  
知らせを受けた家族が2人  
を連れ帰った。  
母はシャムニさんを祈と  
う師に見せた。効果はない。シャムニ  
さんがなぜそうなったのか、母には分  
からない。シャムニさんは、若い男の  
姿を見ると逃げ出すという。よほどひ  
どい仕打ちを受けたのだろう。  
ネパールでは、多くの子どもがイン  
ドに出稼ぎに出る。ヒザはいらず、国  
境の出入りは自由だ。安い労働力を求  
め、人集めのプロローカーもやってくる。  
親は危険を感じながら、口減らしもあ  
つて子どもを出稼ぎに出す。  
その多くは、傷ついて帰ってくる。  
しかし、故郷には、心と体のケアがで  
きる施設がほとんどない。シャムニさ  
んが元通りになる日は、いつくるのか。

「目に見える援助  
」を実施するた  
め、今年のキャン  
ペーンは従来の国  
連機関などへの  
寄金に加え、ネ  
パール現地で進  
められている子  
ども病院建設計  
画にも協力しま  
す。

●病院建設にご協力を  
「目に見える援助」を実施するため、今年のキャンペーンは従来の国連機関などへの寄金に加え、ネパール現地で進められている子ども病院建設計画にも協力します。

生活費求め、インドへ

文・連見 新也  
写真・懸尾 公治

●病院建設にご協力を  
「目に見える援助」を実施するため、今年のキャンペーンは従来の国連機関などへの寄金に加え、ネパール現地で進められている子ども病院建設計画にも協力します。

●病院建設にご協力を  
「目に見える援助」を実施するため、今年のキャンペーンは従来の国連機関などへの寄金に加え、ネパール現地で進められている子ども病院建設計画にも協力します。